



ライオンズクラブ国際協会 334-A地区 4R 1Z

2013~2014



岡崎南ライオンズクラブ

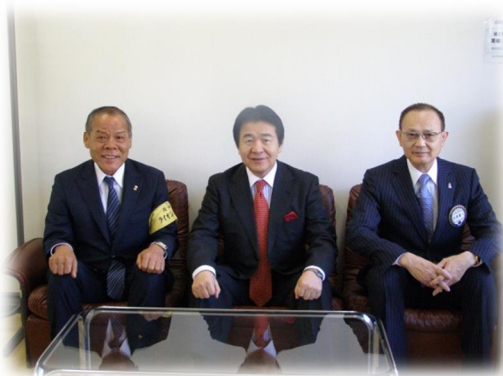
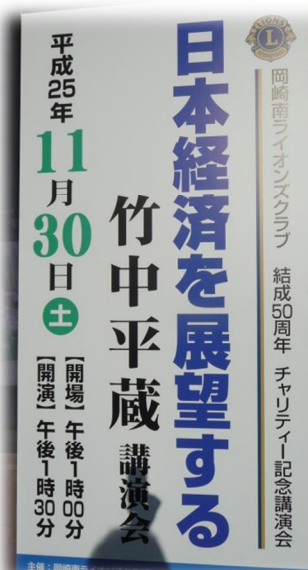
11月号

2013/11/30 岡崎南LC結成50周年記念チャリティ経済講演会「竹中平蔵」 in せきれいホール

岡崎南ライオンズクラブ結成50周年記念チャリティ経済講演会を11月30日に岡崎市のせきれいホールにて開催いたしました。

結成50周年記念事業企画の第2弾としてのチャリティ経済講演会ということで、講師には「竹中平蔵」氏をお招きし、「日本経済を展望する」という題目で講演をいただきました。地区委員をはじめブラザークラブの会長幹事様など多くの来賓にもご参加をいただき、客席数500名定員のせきれいホールをほぼ満席にすることができ、たいへん盛り上がりのある講演会を開催できました。

今回の講演会は企画運営をL.野畑が中心となり、委員会メンバーと講演者の決定から会場の手配、チラシの作成やチケットの販売等、限られた日程のなか頑張った結果、無事開催することができました。お疲れ様でした。



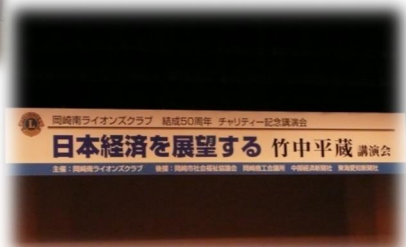
竹中平蔵氏が「人生でやり残したことは何か？」と考えたなかで、「次世代を担う若者たちへの教育だ」とのことで「竹中平蔵 世界塾」という塾を開催しているそうです。今回もこの塾生と思われる若者たちもいっしょに会場入りし講演に参加しました。

講演の内容に入ってまいります、まず「アベノミクスの評価はみなさんどうでしょうか？挙手をお願いします。」

「1. たいへん評価している。」

「2. 評価をしているが、心配はある。」

との問いからスタートしました。1.が10%、2.が90%という会場のみなさんの返答を受けて「わたしもいろいろと心配なことがあるのですよ。」と「アベノミクス 3本の矢」から話しを進められました。





アベノミクス第1の矢「大胆な金融緩和」、元小泉総理大臣政権時は日銀がデフレを脱却できていないのに量的緩和をストップしてしまった。今の阿部総理大臣はその時の内閣官房長官でしたので、日銀とタッグを組んで金融緩和をしていかなといけないことを知っている。それをふまえて現在の円安や株高の背景がある。15年続いているデフレを脱却することが経済復活の始まりである。

アベノミクス第2の矢「機動的な財政出動」、日本の財政赤字はGDPの2倍でワニの口の様に歳入と歳出の差がどんどん広がっています。短期的には財政出動をして需要を増やし、2020年までには財政再建、基礎的財政収支を黒字にするというものですが、これができていない。これをするためには会場に来ているみなさんも大きな痛みを受ける社会保障、年金に手を付けるしかない。収入のあるお年寄り、資産の十分にある方は年金を減額する。「経団連の会長さんには、まさかあなたは年金をもらうわけがないですよね!」と言っているのですよ。痛みをともなう政策まで踏み込まないと財政再建など成功しない。

アベノミクス第3の矢「民間投資を喚起する成長戦略」、規制緩和が必要である。日本では法人である株式会社が農地を購入できない、農業に参入できないのです。日本の農業技術は世界でもトップで輸出競争でも決して負けない品質生産力があり、もっと産業として成長できる可能性があります。学校教育制度でもそうです。次世代を担うのは若者でグローバルな人材を育成するには教育の規制緩和も必要である。偏差値による教育は教師からしてみればかんたんのことで、そんなことでは世界の中ではとうてい通用しない。社会インフラの運営、空港、高速道路や公的な施設をもっともっと民営化する。いろいろな規制をとっばらって民間企業に頑張ってもらい、アベノミクスの成功、日本の成長が現実なものになるのは民間努力であって政府ができるものではない。政府は企業がもっと自由に活躍のできるステージを作らないといけない。特区というのも必要でどんどん試せば良いと思う。特区という限定的なところ場所で認めること試すことでいろいろな規制を取り崩していくきっかけにもなると思います。

アベノミクスの成長戦略に大きなプレゼントになったのがオリンピックの誘致の成功です。世界中の人々が日本、東京を見たり訪れたりします。オリンピック以上に世界の注目を浴びることもないであろうし、かなりの経済効果をもたらします。しかし、成田空港から東京へのアクセスが悪い、新幹線を品川から羽田へ伸ばすのはかんたんなことです。成田の住民は大反対をしているようですが、今は国益を考えるとときではないでしょうか。

以上のような、講演内容ではなかったではないでしょうか。担当をいたしましたL.野畑とPR委員長のわたくし原が聞いた内容をかんたんに整理させていただいたものとなります。L.野畑がまとめましたもっと詳しい内容の講演要旨がございますのでご希望であればお声をかけてください。

最後に会場お客様からの質問に答えいただきました。その一例ですが、主婦のお客様からの質問で消費増税に関してお答えいただきました。「今するべきかの判断は意見が分かれると思いますが、国際的に公言していることなので止めることはできないだろう。5%から8%へ増税することで国は8兆円の税収がありますが、新しい政策で5兆円以上を国民へ還元する方法をとっており、消費に影響を与えることは間違いないが、それほど心配することではないと思っている。あまり還元し過ぎると財政再建の効果が薄れ、国際的な評価が下がってしまうことになるだろう。」とのお話でした。